



TITLE:

# 「大惣本目録」第1、2分冊の刊行について

AUTHOR(S):

---

CITATION:

「大惣本目録」第1、2分冊の刊行について. 静脩 1990, 26(1-2): 6-6

ISSUE DATE:

1990-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37048>

RIGHT:

## 「大惣本目録」第1、2分冊の刊行について

附属図書館には「大惣本」と呼ばれる江戸時代に刊行された和書の大きな文献類がある。江戸中期（明和年間といわれる）以降名古屋で手びろく貸本業を営んできた大惣（大野屋惣兵衛）の旧蔵本であり、附属図書館の創設とほとんど時を同じくして購入された。昭和60年以降、文学部国文学教室にこれの整理と書誌的な解題をお願いしてきたのであるが、62年までにその基本的な調査が終わり、その目録が63年度から3分冊の形で刊行されている。

目録の名称は「京都大学蔵大惣本目録」である。第1、第2分冊は大惣時代の獨得な分類項目別に編成された本文篇であり、各冊ごとに簡潔な註解が与えられている。第1分冊は随筆、絵本・読本、日記・紀行等を含む1,222部（131頁）、昭和63年3月刊行。第2分冊は絵本図絵、西鶴・八文字屋本、浮瑠璃丸本、黄表紙、幕府写本、往来書等を含む2,447部（254頁）、平成元年3月刊行。ひきつづき、書名索引、分類項目別索引からなる索引篇を準備中である。

## 「京都大学同和問題文献・資料コーナー 図書目録－1974～1988－」を刊行

今回刊行した目録には、昭和49年度～63年度までの15年間に受入れた図書：約1,107点、雑誌・新聞：約20種を収録しています。

また、これらの資料は、附属図書館、農学部図

書室、教養部図書館、医学図書館の資料コーナーに配架しています。

なお、この目録は2年に1回累積版として刊行し、全学の図書館（室）に配布しています。

---

## 利 用 者 と の 接 点

“図書館のカウンター”は  
何をしているか……

図書館利用者と図書館は、どこで、どのようにして結びついているのでしょうか。大部分の利用受付や質問などは、カウンターで扱っています。図書館ではカウンター業務を非常に重要視しておりますが、利用者からみると、どこで何をしているのか、わかりにくいのではないのでしょうか。

そこで、附属図書館の1階と3階の各カウンターで扱っている各々の業務内容をご紹介します。

### 《1階カウンター》

玄関に近い方から

#### 1. インフォメーション・デスク（受付）

- ・図書館利用証（Library Card）の申請、期限延長等の受付、紛失による再発行の受付及び発行
- ・学外者の利用受付：「国立大学図書館間共通閲覧証」及び近畿地区公立大学教員・院生の「共通閲覧証」による入館受付。
- ・他機関等所属者の「特別閲覧願」による入館受付。
- ・学内図書館（室）の場所、利用方法等の案内。
- ・全学総合目録の利用案内。
- ・見学者（30分以内）の受付。